

本気で目指します！ 「病気のない社会」の実現

「健康長寿」をスローガンに、高圧電位治療器や家庭用浄水器、健康食品などを開発販売しているコスモヘルス。10年足らずという短期間で売上高を25億円から87億円に伸ばすなど、急成長を遂げた企業だ。その原動力が社員の「カリスマ」的存在として同社を牽引し、今年37歳で代表に就任した鈴木優輔さんだ。その根源には、ビジネスを通じて予防医療の重要性を啓蒙し、社会を変えたいというビジョンがある。

治療から予防へ――。 全国民の意識を変革し、 日本を「健康で長生きの国」に

主張①
日本の国家財政は「医療費」で破綻する。
国民皆保険への「甘え」に警鐘を！

世界でも類がないほどの、超高齢化社会を迎えつつある日本。現在の医療費は年間で41兆円を超え、2025年には56兆円、2050年には70兆円にまで跳ね上がると予測される。

現在、100歳以上の人口は6万5000人。(1947～1949年生まれの)団塊の世代が100歳を迎える2050年には、68万人を超えるといわれる。コスモヘルス社長の鈴木優輔さんは「その時、100歳を超える、超高齢者、のほとんどが寝たきりになるはずですよ」と推測する。

「莫大な医療費を数少ない若者が負担しているかねばならない社会環境下で、病人や介護人がさらに増えることになれば、間違いなく日本経済は破綻します」(鈴木さん)

この状況を阻止できない背景には、日本の国民皆保険制度に問題があると鈴木さんは指摘する。

「米国の救急病院でレントゲンを1枚撮影すれば、数十万円の医療費がかかりますと言われます。盲腸で手術をして1泊入院すれば数百万円。医療費が高いので病気になれない。だから米国では「病気になるように」普段から気をつ

けなさい」という教育を受けるんですよ。しかし日本は違う。医療費の自己負担額が全体の1～3割と米国に比べて安いので、病気に對する国民の意識が甘い。多くの人が「病気に、なつてから、病院に行けばいい」、そして「お医者さんに薬をもらって飲めばいい」と考えている。ですから「病気になるように努力する」といった予防医療の概念がなかなか浸透せず、医療費は膨れ上がる一方なのです」

主張②
「予防医療」を初等教育に加え、
「病気になるように努力をする社会」を作る！

人の意識は環境の変化で、大きく変わります。鈴木さんはその好例として、北海道夕張市を挙げた。

「夕張市は2007年に、財政破綻したことで街から病院がなくなり、小さな診療所のみになりました。高齢化率は全国トップクラスで、老人しかいない街」という表現が決して大袈裟ではないほどです。こうした状況にもかかわらず現在、病人の数が大きく減り、老衰で亡くなる方が増えていると聞きます。この現象を「もう医師には頼れない」という危機感が、市民の意識を高めた結果だと考えるのは、自然なことですよ。実際、喉につまらせな

い」と考えている。ですから「病気になるように努力する」といった予防医療の概念がなかなか浸透せず、医療費は膨れ上がる一方なのです」

病気になるように努力する。予防医療の意識が浸透すれば、高齢でも健康な人が増えて医療費の軽減につながり、その分の税金が待機児童問題や震災復興といった社会問題の解決のために使える。それが鈴木さんの理想とする社会だ。

ために、お正月に餅を食べないお年寄りが増えているとも聞いている。つまり、意識の持ち方次第で社会はいくらでも変えられるはずなのです」

健康医療機器に携わる1人として、ビジネスを通じて出会ったすべての人に「病気になるように努力の大切さ」を伝えていきたいと語る鈴木さん。その思いは日増しに膨らみ、今や全社挙げの夢でありビジョンとなった。

「私たちの目的は、弊社商品の普及だけではありません。普段から健康に気を配って生活する人を、1人でも増やすことも、同様に重要です。予防に對する高い意識の輪が広がり、病気を介

護で苦勞している人々を1人でも減らすことに貢献していきたい」

さらに深く、予防への意識を根づかせるために、子供の教育を変えたいと鈴木さんは夢を語る。

「学校の教科に「予防医療」を作り、病気の怖さや健康のありがたさ、命の尊さ、予防の大切さを子供に教えられれば、普段から健康に留意する大人になりますよね。ドラスティックな発想で改革しなければ、今の状況は打破できない。だから私は大きな夢を持ち、叶える努力をしたいのです」

将来、「予防医療の概念をこの国に浸透させたのはコスモヘルスだ」と言われることを目標に、社員一丸となって啓蒙活動に力を注いでいく決意だ。

「予防医療を世間に広めた存在として歴史に名を残すことが、我々の使命であり、夢です。決して簡単なことではありませんが、これが社員全員のモチベーションになっています」



鈴木優輔 Yusuke Suzuki
大学卒業後、大手自動車販売会社に入社。新入社員トップの営業成績を収める。コスモヘルスのグループ企業に入社後、個人でもチームでも売り上げトップの成績を次々に叩き出し、2017年2月から、コスモヘルスの代表取締役役に就任した。

コスモヘルス株式会社
代表取締役
鈴木優輔氏